



えんだより

たぐちほいくえん
大川市三丸 164-1
TEL 88-2321

2023.12.1

朝晩の寒さも日に日に増し、冬らしい季節となりましたが、日中はまだ暑い日もあり体調管理が難しいですね。今子どもたちは2日・9日の『生活発表会』に向けて、遊戯や劇あそび、合奏など、さまざまなものにチャレンジしています♪当日は緊張する子も多いかもしれませんが、温かく見守ってくださいね。また今年度は生活発表会終了後、保育参観を行います。子どもたちと一緒に触れ合い楽しいひとときを過ごさせてください。

今年も早いもので残すところ1ヶ月となりました。子どもたちは園生活を通していろいろな経験し、一人ひとりが成長してくれました。職員一同嬉しく感じています。これからもいろいろな経験を通して、成功体験を積み重ね自信に繋げていけるように取り組んでいきたいと思ひます。今年1年、保護者の皆様にはご理解ご協力いただきまして本当にありがとうございました。

12月の行事予定

2日(土)	生活発表会(すみれ・ちゅーりっぷ・きく組) 保育参観(たんぽぽ組)
9日(土)	生活発表会(ばら・さくら組) 保育参観(たんぽぽ組)
15日(金)	園児報恩講
25日(月)	誕生会
26日(火)	もちつき
29日(金)	愛情弁当の日



さくら・きく組の保護者へ

さくら・きく組は筑後地区器楽合奏発表会に出場します。

とき: 令和6年2月4日(日)

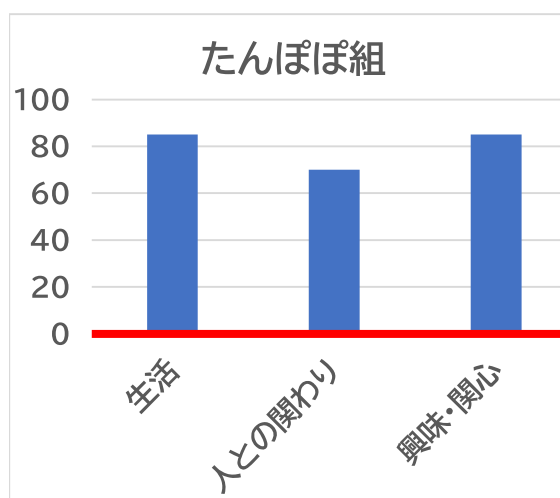
ところ: 久留米シティプラザ

※詳しい内容は決まり次第お知らせいたします。

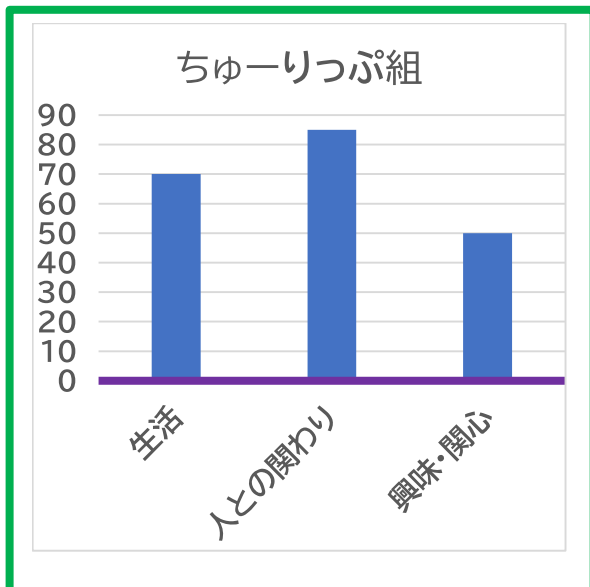
※30日(土)~1月4日(木)まで園はお休みとなります。
保育始めは5日(金)です。平常保育で行います。

12月はノロウイルスやロタウイルスによる食中毒が流行しやすいです。健康管理に十分に注意しましょう。感染を広げないためにも、しっかりと手洗いをご家庭でも行ってください。

2023年度前期の自己評価・反省(①生活②人とのかかわり③興味・関心)



一人ひとりの関わりを大切に、保育士がゆっくりと接したり声かけをしたりしました。食事面では離乳食を食べている子は手づかみ食べやスプーンを使って食べたり、カップを持って飲もうとしたりする姿が見られるようになりました。また、哺乳瓶に手を添えて飲む姿も見られるようになりました。歩行面では腹ばい⇒ハイハイ⇒伝え歩き⇒歩行へと段階を踏み、一歩一歩成長に繋がっています。これからもゆっくりと関わり、成長段階に沿って声かけや補助をしていきたいと思ひます。また、保育士が仲立ちとなり、お友だちとの触れ合いも大事にしていきたいと思ひます。ご家庭でも食事時にスプーンやカップの使い方など手を添えて教えていただければと思ひます。また、哺乳瓶にも子どもたちが手を添えて飲むようお願いいたします。



① 食事は手づかみ食べが多く見られていましたが、フォークやスプーンの使い方を丁寧に繰り返し伝えていくことで、子どもたちもずいぶん使いこなせるようになってきました。また、フォークやスプーンの握り方が上握りで食べている子がいますので、下握りで食べられるよう引き続き声かけをしていきたいと思ひます。

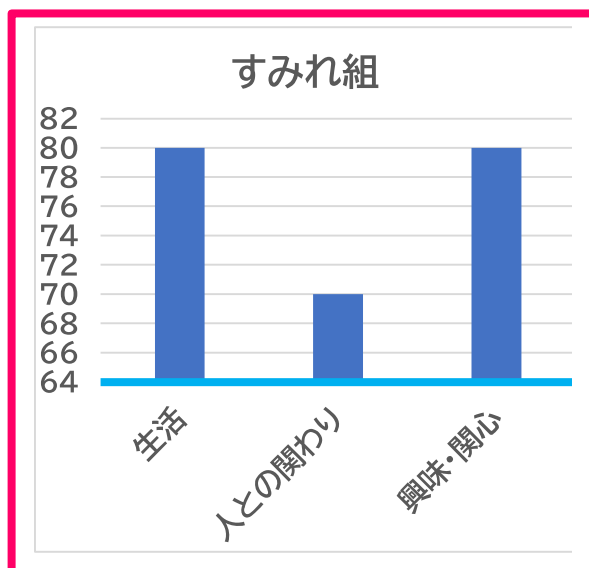
排泄 **高月齢の子**はパンツで失敗したりタイミングが合えば排尿したりを繰り返し経験する中で、尿意や排泄の仕方を掴み、パンツで1日過ごせるようになりました。たくさん褒めて意欲や自信につなげています。

低月齢の子はトイレでの排せつやパンツで過ごすことに慣れていけるようサポートしていきたいと思ひます。

この2項目はご家庭と園とで連携して取り組んでいきたいと思ひますので、保護者の皆様ご協力よろしくお願ひします。

② 保育士の語りかけやスキンシップを多く持つことで、愛着や親しみがわき、子どもたちはやりとりを好んで楽しんでいきます。また、友達にも少しずつ関心が芽生え、手を繋いだり簡単な言葉で話したりして関わりが増えてきました。ご家庭でも身近な人との関わりを大切に、豊かな心を育ててください。

③ 食事、紙芝居や絵本の読み聞かせ、手あそびなどの時間を通して、いろいろな食べ物や動物などに興味・関心が出てきました。また、高月齢の子どもたちは食べ物や動物の名前、特徴を覚えそれを言葉で話す姿も見られました。これからも子どもたちの気づきに共感し、興味・関心が膨らむよう言葉のやりとりを大切に、言葉を引き出していけるような保育を進めていきたいと思ひます。



① フォークやスプーンは日頃から子どもたちに「バキューンでもつよ」と声かけしたり手を添えて持ち方を知らせたりしたので、子どもたちも正しく持とうという意識があり、「先生、こう?」「バキューンよね」と意欲的な声が聞かれるようになりました。姿勢についてはその都度声かけするとその時は正しますが、また元に戻ってしまうことが多いので、継続して声かけをしながら意識づけしていきたいと思ひます。

身のまわりのことは仕方や手順を保育士と一緒に繰り返すことで覚え、一人で取り組めるようになってきました。また慣れから雑にならないようこれからも丁寧に関わっていききたいと思ひます。

② 保育士が仲立ちとなり遊びや活動を行うことで、友達との関わりがより一層増え、言葉のやりとりも増えていきました。

③ リズムに合わせてうたったり踊ったり、紙芝居や絵本をみたりする時間を多く持つことで、興味や関心をもって活動に参加する姿が見られました。これからも子どもたちが好きな歌やダンス、絵本や紙芝居を選んで楽しさを共有できればと思ひます。